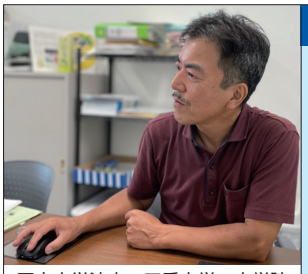
MONTHLY
かわせみ通信
10月号
2023年10月
Vol.170
発行所 株式会社東海テクノ ECOLOGY & SCIENCE 本社／三重県四日市市午起2丁目4番18号（〒510-0023）
TEL.059-332-5122㈹ https://www.tokai-techno.co.jp

未来を拓く研究室訪問

当社では、事業レベルの高度化や新サービスの開発において多くの大学の先生に助言を頂いたり、共同研究をさせて頂いています。そんなお世話になっている先生の研究内容について、インタビューさせていただき、その内容を大胆に抜粋して未来技術の今をお伝えします。



国立大学法人　三重大学　大学院
地域イノベーション学研究科
矢野　竹男 先生

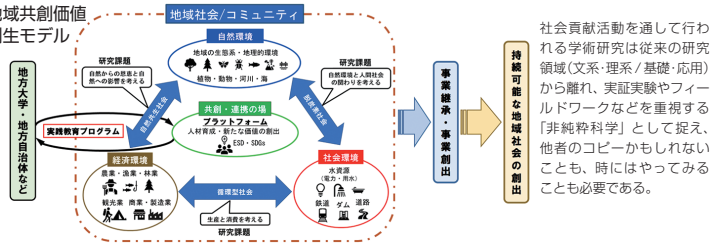
◆先生と当社との関係◆
食品中のアレルギー成分分析に関するご助言や抗生物質の試験法開発の共同研究など、食品分析に関わるご指導をいただいております。また、弊社社員の博士学位取得の際は、大変お世話になりました。

先生の最近の研究

研究の内容

学内の教育だけにとどまらず、持続可能な地域社会への展開（地域創生）のため、地域事業者を対象とした事業創出プラットフォームの確立や実践型教育プログラムの開発に取り組んでいる。

地域共創価値創生モデル



社会貢献活動を通して行われる学術研究は従来の研究領域（文系・理系／基礎・応用）から離れ、実証実験やフィールドワークなどを重視する「非純粋科学」として捉え、他者のコピーかもしれないことも、時にはやってみることも必要である。

研究の魅力

学生達にプロマネジメント教育を行ってきた経験や社会貢献活動に関わってきた経験から、地域イノベーションの解釈に関して、大学と地域社会との意識レベルに違和感を持っていた。地域社会では、意欲ある事業者が集まり、地域課題を事例とした実践教育とそこからの事業創出が地域創生に繋がると仮定した。現在、大台町で行っている「柚子プロジェクト」では、地域の実情に合わせた未利用資源の有効活用方法を確立することで、ゼロエミッションの実現を試みようとしている。

研究の課題

今後、事業者は人材の確保がますます難しくなる。特に小規模な組織では、自身の組織の魅力を如何に発信するかが重要となる。地域においては、意欲ある事業者が集まり、地域固有の課題から、新しい価値やアイデアを創出できるコミュニティを作っていくことが当面の課題と考えている。

先生から伝えたいこと

自然環境・社会環境・経済環境のバランスの取れた地域創生を如何にするか」ということは、時代的要請であり、国家的課題でもある。しかし、地域創生活動には多様な行為主体（アクター）が関与する。そのため、関連概念の認識や利害関心の相違から、その活動を持続・展開させるための合意形成が困難となっている。また、個々のアクターは、地域創生を系統的に考える「学びの機会」を持つ者は少ない。この課題に対し、実践活動を通して、地域創生活動を系統的且つ実践的に学ぶ場を提供し、個々のアクターが、競争ではなく、自身が向上するとともに他者と共創することで、新しい価値を地域に創出していくことが、地域創生には重要だと思う。

インタビューの感想

先生からは自身の学生時代の研究やこれまで歩まれてきた道から、この研究に込められた思いも聞かせていただきました。大学で学べることは、時間も実践もない中で内容も限られますが、社会経験を積んだあとで、再度学び直せるというのは貴重な場だと感じました。

重金属って身体に悪いの？

食品パッケージでよく「亜鉛たっぷり」とか「マグネシウム豊富」とか書いてあるけど、金属って身体に悪いんじゃないの？と思ったことはないかな。重金属とは比重が４以上のもので、カドミウム、鉛、亜鉛、銅、鉄、ヒ素など約60種類があるんだけど、一般的に毒性が強い物が多く、土壌汚染対策法の対象となる物質もあるので有毒なイメージが強いよね。でも生体元素と言われる主要元素や微量元素はミネラルと言われ、人の身体を作ったり生命維持に必要な金属なんだよ。ちなみにパッケージに「高○○」「○○豊富」「○○たっぷり」と記載してあるのは栄養強調表示といわれ、食品表示基準の「高い旨の表示の基準値」以上含まれていれば表記出来るんだ。効能が記載されていたりもするので、必要な金属はきちんと摂取したいよね。

WEB セミナーおよび講習会開催のご案内

【WEBセミナー】
第8回『脱炭素経営の重要性と自社のGHG排出量の可視化』

自社のGHG（温室効果ガス）排出量の可視化は今では必要不可欠な作業です。大企業から中小企業まで業種、業態を問わず幅広く算定支援を行うBelieve Technology㈱様より講師を迎え、排出量算定の基礎をご説明致します。

開催日時 2023年11月22日㈬ 14:00～15:15

詳細はこちら https://www.tokai-techno.co.jp/topics/9444/f

【保護具着用管理責任者講習会】

弊社では11～3月までの毎月1回、じばさん三重において保護具着用管理責任者講習会を開催致します。選任要件を満たされない方を保護具着用管理責任者として選任する場合は講習会の受講が必須ですし、要件を満たす方も受講が推奨されています。

お申込みは弊社 HP まで https://www.tokai-techno.co.jp/product-service/hrd-consulting/protective-equipment/

社員プチコラム

名古　将教（環境事業部　営業Gr　営業主任）

かわせみ通信創刊号より早くも14年目となり3周目のコラムの順番が回ってきました。1回目はサーフィン、2回目はパドルボード(SUP)フィッシングと海の遊びでしたが、今も相変わらず休日は海にいます。現在はSUPから更に進化？してカヤックフィッシングにハマっています。より遠くまで行けるようになって釣果も増え、食卓も少し豪華になりました。コロナ禍からキャンプや釣りをする人が増えてトラブルも増えていますが、これからもマナーを守って楽しんでいきたいです。

編集後記

10月は食品が値上げされたり、様々な変化がありますね。弊社ではインボイス制度に伴い納品書や請求書の書式や送付方法が少々変わりました。受領書が付いていないとご連絡を頂きますが、勝手ながら受領書を廃止して「ご意見・ご要望書」に変更しております。この場を借りてご報告させていただきます。よろしくお願い致します。（みっちー）